東京スカイツリー開業で

地域一体で墨田の魅力を磨く

墨田は貴重な体験領域

日本の新旧文化を学ぶ

出席者（順不同）

墨田区観光協会 事業開発担当課長	岩井 利浩 氏
墨田区伝統工芸保存会 会長	塚田 進 氏
東武トラベル 取締役企画仕入部長	山本 東 氏
第一ホテル両国 取締役総支配人	宮﨑 滋樹 氏
東武ホテルレバント東京 取締役総支配人	堀川 順弘 氏
東武タワースカイツリー 営業計画部観光営業担当課長	望月 康紀 氏

宮﨑氏

堀川氏

――教育旅行の班別行動では、生徒が町を歩く時に地域の人々と出会う。そうした行動への対応はどうだろう。

岩井　現在は、区民全体で修学旅行生を迎えるホスピタリティと言えるレベルではないかもしれないが、観光客へのもてなしは徐々に変化している。スカイツリーができて来訪客が増えるから、ホスピタリティも急上昇というわけにはいかないだろうが、ここにも1つずつの積み上げが必要だろう。観光協会には多くの区民が個人で会員になっており、そうした人にも働きかけている。

堀川　私どものホテルは、見学や体験の各ポイントへの順路を示したイラストマップを用意している。また、ここ墨田区には本所七不思議をはじめ、江戸時代から伝わる民話がかなりある。そうした話を語れる人もいるのだが、どのように伝えるかの方法が分からなかった。そこで区内にある50カ所ほどの寺とジョイントして、そこへ行って実際に話を聞く仕掛けを作った。

宮﨑　「墨田区にはこんないいところがある」と観光客へ伝える気持ちづくりは、私たちのレベルから始めていくのが妥当だろう。そこから徐々に広げていく。現在でも土曜日や日曜日には多くの人がスカイツリーを目当てに訪れて、周辺の商店街を歩き回っている。その時に休日だからと店のシャッターを降ろしているようでは、訪れた人に不親切だし、せっかくの商機を逃しているかもしれない。そうした部分から見直していくことも必要だし、現在は少しずつ商店街がにぎわってきたと実感している。スカイツリーの開業まであと1年足らずだが、そうした気持ちを一人ひとりが周囲に伝え広めていくことが大事だ。そして、墨田区がいい町だと訪れた人に分かってもらえれば、また来てもらえる。これは教育旅行に限ったことではない。そのきっかけをスカイツリーが作ってくれた。

山本　旅行業には、いわゆる地域ネタというのがある。これには場所と提供をする人が欠かせない。そして、墨田区内に長い時間、居てもらうためには、泊まれる宿泊施設がなければいけない。つまり、地域のそれぞれが本来の機能を果たすことによって、訪れた人に満足がもたらされる。当たり前と言えばそれまでだが、来訪者への意識に欠けると先ほどの話にあった土日にシャッターを降ろすことになる。土日も本業を本来の形で営業できるようにすれば、観光のために地域づくりをするのではなく、地域づくりとして観光を利用できることになる。それが着地型の観光であり、墨田区にはその要素がすべてそろっている。その意味では、スカイツリーを地域として利用させてもらうスタンスが必要だ。

堀川　地域一体という点である都市では、観光関連の事業者だけでなく商店街の店までを1つのテーマでくくり、それを来訪客向けの案内冊子に仕上げている。訪れた人間にとって、これは便利なものだ。地域の事業者がその構想を練り上げて、行政がバックアップして実現したという話だが、こうしたことは墨田区でもやれる。まず、地域内のコミュニケーションを充実させることであり、そこに教育旅行の受け地としての視点を盛り込んでいく。

岩井　観光で一番大事なのは「人」だと言われているが、それを具体的に言えば、本業を本来の形で実行することなのだろう。

山本　スカイツリーは注目のマトだが、墨田区内を歩くことで教育旅行としての意義があり、しかも生徒の知的欲求や好奇心が十二分に満たされることを、学校側に訴求することが大切だ。先生方は、いいものであれば必ず理解してくれる。そのために、地域の個々の魅力をネットワーク化して、より大きな魅力になるよう努力しているのが現状だろう。

例えば、伝統産業の製品を売る場合、単に商品を売るだけでなく、大切に使ってもらうための心も添えて売らなければいけない。売り方とともに使い方や保存の方法などの栞を、今日であれば日本語だけでなく外国語での表記も必要だ。それによって、いつまでも大切にしてもらえる愛着が芽生える。そうした対応をすることも、地域ネタの1つに考えていい。

堀川　私どもでもディズニーの土産品にはお世話になっているが、修学旅行生の土産品の中に墨田区のものが入っていないのは淋しい。

岩井　ディズニーや浅草と張り合うのではなく、墨田区にしかないものが数々あるので、それを訴求していくことが欠かせない。

望月　それには世界観やブランディングが必要だ。墨田の世界観やブランディングをこれから発信していくことになる。日本全国に知れ渡ってきたスカイツリーをからめて効果的なアピールをしていくことができるはずだ。また、開業初年度に東京スカイツリーだけで540万人の入場者を、東京スカイツリータウンの施設全体では2500万人程度の来場者を見込んでいる。

堀川　それだけの人数がスカイツリーの周辺を歩き回ることが、どれだけ凄いことなのか。それを墨田区の商店街の人は考えなければいけない。例えば、京都の清水寺周辺を思い浮かべれば想像できるはずだ。そうなると、地域のホスピタリティにも関心を払わなければいけない。

塚田　伝統工芸に携わっている人間の多くは、ここで生まれ育ってきた。ホスピタリティの面について言えば、下町で育ってきた人間は元来、おせっかいな人が多い。修学旅行生が町で道を探している姿を見れば、つい声をかけたくなる気質を持っている。困った人を見過ごしにできない下町気質とでもいうか。そういった人情に触れてもらえることも、教育旅行では貴重な体験の1つと言っていいだろう。

工房の多くは住居部分と一体化しており、トイレは当然ながら住居部分にある。私どもの工房では、見学者がトイレに行きたくなることも少なくないので、工房の中にトイレを作った。これは一例だが、そうした江戸のなごりを引く人情が隅田には色濃く残っている。だから、修学旅行で来た以上は、スカイツリーに昇って終わりにするだけでなく、気軽に町歩きを楽しんでほしい。必ず、得るものはあるはずだ。

宮﨑　ここには昔からの伝統と文化がある一方、新しいスカイツリーがある。新旧一体の「タイムマシーン・タウン」と言ってもいい。修学旅行で訪れた後、社会人になってからも再び訪ねてもらえるような好印象を墨田の土産にしてもらいたい。

塚田　ものづくりの町だから観光慣れはしていなかったが、スカイツリーができたことで変わり始めている。これまでの形を継承しながら、修学旅行生や観光客にも気を配る町になりつつある。

634メートルに到達。墨田区は、いま――

いま、修学旅行で東京へ訪れた時、国会議事堂や皇居、そして東京タワーよりも、まず思い浮かべるのが東京ディズニーリゾート。だが、そうした流れは東京スカイツリーの開業で大きく変わろうとしている。地図で位置関係を捉えてみると、かつての旅行先と新しい旅行先のどちらにも好都合な立地は、墨田区だと分かる。

江戸トラディショナルと東京フューチャーの融合した町が墨田区であり、それを支えるのが下町人情にあふれた人々だ。いわば町全体が、修学旅行や教育旅行に最適な見学や体験スポット、触れ合いに満ちている。

東京スカイツリー 施設概要説明会

5～7月に東京、大阪、名古屋、福岡、広島、札幌、仙台で開催予定。

内容：入場料金、団体予約方法、団体予約受け付け開始時期、営業日・営業時間など

対象：旅行会社全般（企画・仕入・法人・教育旅行営業担当者など）

問い合わせ先
東武タワースカイツリー
営業計画部　観光営業担当
電話　03―3621―5635
ＦＡＸ　03―3621―5619

この度の東北地方太平洋沖地震により被害を受けられました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。　参加者一同

東京スカイツリー®とともに、教育旅行の誘致を推進しています。

■ホテル イースト21東京

東京スカイツリーの全景をホテル正面に望み、ベイエリア観光の拠点に最適。

〒135-0016
東京都江東区東陽6-3-3
TEL.03-5683-5683
http://www.hotel-east21.co.jp/

■東武ホテルレバント東京

北側わずか1.5kmに東京スカイツリー
南側に都心の夜景を望む絶景です。

〒130-0013
東京都墨田区錦糸1-2-2
TEL.03-5611-5511
http://www.tobuhotel.co.jp/levant/

■第一ホテル両国

東京スカイツリーまで約1.8km
歴史文化が根付く街 両国へ！

〒130-0015
東京都墨田区横網1-6-1
TEL.03-5611-5211
http://www.dh-ryogoku.com/

■浅草ビューホテル

下町情緒溢れる浅草の街並みと
東京スカイツリーが一望。

〒111-8765
東京都台東区西浅草3-17-1
TEL.03-3847-1111
http://www.viewhotels.co.jp/asakusa/